



青南だより

令和2年12月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<コロナ禍であっても確実に>

今年は、新型コロナウイルスへの対応に多くの労力を注ぎ込む一年となりました。難しいこともありましたが、常に前向きに、子どもたちの育ちのために労を惜みず働いてくれる教職員、保護者の皆さんのおかげで、身の丈に合った充実した取り組みができ、子どもたちの育ちを実感することができています。特に、生活習慣や人との関わりは、改めて毎日の園生活の中で積み重ねることでこそ身に付くことを再確認できました。

<毎日の積み重ねの力>

毎日、幼稚園に通うことが当たり前ではないこと、有り難いことだと何度もお伝えしてきましたが、子どもたちの育ちの様子を見ると、そのことを実感します。作品展や親子フェスタ、その間に日々繰り返している好きな遊びや自然との関わりの中で育っていく人や物に対する大事な構えは、行事の当日だけ参加して身に付くものではありません。いつどこで感染者が出てもおかしくない状況です。改めて健康管理と感染対策を徹底していただきますよう、よろしくお願いいたします。

<ホームページからの発信のねらい>

ホームページからの発信は、諸事情で登園できない家庭へのフォローという意味もあります。園での子どもたちの様子はもちろん、子育てを『孤育て』にしないために、子育てのヒントになることもお伝えしています。幼稚園は子どもの育ちの場であると同時に、保護者の皆さんがPTA活動などを通じて子育てを支え合う仲間をつくる大切な場でもあります。また、身近な自然との関わりは、日々の生活を豊かにしてくれます。ブログや小さなコラムには、そんな様々な願いも込めています。

さて、年度末に向けて、幼稚園の取り組みを反省・評価し、次年度への改善を図っていく時期となりました。後日、保護者の皆さんにも幼稚園評価のアンケート用紙を配布しますので、よりよい幼稚園づくりの仲間として、ご意見をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

青南の 二十四節気

・・・師走(しわす)・・・

大雪(7日)・・・園庭のかえでも色付き始めるでしょう・・・

冬至(21日)・・・空気が澄んで遠景がよく見えます・・・

11月初めに樹木剪定をしてもらいましたが、その際に、桜の木は枯れた太い枝を切ってもらい、安全を確保できました。かえでは剪定はせず、枯れ枝を少し払ってもらった程度ですが、今年の色付きはまだ先になりそうです。子どもたちと一緒に夏の草花を整理し、新しい苗木も植えて、次なる自然環境作りも進めています。



第二校庭で年中児に踊りを見てもらう年少児



フェスタ前に、年長のダンスを一緒に踊っていました



親子で一緒に遊ぶことのできたフェスタ



フェスタ後には全学年が混ざって年長のダンスを



年少組もプランターで二十日大根を育てたよ